

源川さんベテランのシニアの方

研修3日間は自席で勉強がほとんど、内藤さん、もずみさん、源川さんが合間を見て不良を見せてくれたり、どこが悪いかなど教えて頂いてました。顕微鏡の使い方やカメラの使い方を伺いました。みなさんとても親切にしてくれました。また、IPC-A-610 JPという国際標準規格に基づいて作業を行っているかと教えて頂きました。基準が3段階ありランク1が家電製品、ランク2が半導体などの機器、ランク3は生命に関わるもの等理解しました。

現場に源川さんと一緒にいき、作業を行い、入力是一字一句文言を追記、言われた通りにロボットのように正確に行う様にしました。

業務がかなり難しいと感じたのは元々技士の方の言われた通りに行って、作業が間違っていたことでした。窓口担当の方にボロボロに言われていたので。

また、不良調査票という私達の行う業務において、お客様に説明するのに原因と修復内容・結果どうなってどうします、というのを記入しないとイケないのですが、もずみさんが対社外窓口で、源川さんと一字一句作業を行い、メールの送付のしかたHITACHIの流儀等を教わっていました。言われた通りに作業を行い、言われた通りに一字一句言われた通りにして、以前のものを踏襲して作業を行って送付してNGが続き、作業が滞る様になりました。暫くして散々NGを出された事に対して「気を使って私の作業が至らなくてすいませんといったら」、「気にしないで良い、言われた通り忠実に作業を行っているから問題ない。俺に対する侮辱だ」と怒り心頭で翌日等「ブチギレる寸前だから」と作業が一向に進まない事に対して苛立ちを顕にしていました。

そんな中で教わった作業に対して、復習も兼ねて手順書を作成しました。また、部長と北原さんより冗談かわかりませんが、残業をいくらでもつけて良いという話が出たりしました。元々私は残業に対してシビアに考える方で、基本的に必要であればやるというスタンスでした。その考え方などは源川さんにもお伝えしていました。

ですが、源川さんより残業についての話題がしきりにでました。あいつは生活残業をしているなど、他の人の業務に対して疑問を感じている様でした。とっとと仕事を処理しないとイケないのに、「完璧主義で、自分の良い様にやってる。」、この時入ってまもない私は部内の調整やメンバー同志の仲が悪いのかなと思う様になりました。北原さんより残業をさせる様にとの話が出ていたとの事ですが、通勤時間に往復で3時間以上ありますし、何より通して仕事が行う事ができず、何をして良いかもわからないのに、残業をする意味がわからないと、源川さんにお伝えしました。

勉強で残業をすとかあり得ないと思っていますし、他の会社でもそうだったので、私は残業を特に言われな限りは決してしませんでした。また、作業においても付き添いの方が見ていない時は絶対に作業を行いませんでした。個別で作業を頼まれた時も、マニュアルを見ながら行い、必ず確認をしてもらう様にしていました。

その中でも、行う作業がNGの連発で、何でかと思っていたら、前任者が病気で退職する為、出勤日が少なく引き継ぎもうまくできていない様でした。また、その方は技士でもあったのですが、上長の承認を得ないで勝手に送付したものでした。その為、以前のものを踏襲するにしても、上長のチェックがなくかつ、NGが連発ということは、対外的に出してはイケないものを顧客に出していたという事が私の中で気づきました。

そんな折に教育の期間が早まったりした為私の中で焦りが出てきました。正直、ヒューズやコンデンサなど部品の種類も多く検査をしたりしないといけないのですが、ICT等は導通チェック等日に日に検査の内容等覚えていくたびに、違和感を覚える様になりました。検査は何をやっている

か概要はわかりますが、その結果が読み取れないという事です。数字と英字の羅列で項目の中でも許容値がありその数値が細かく、振幅によって何が起きているかを見極めないといけない点が難しいと思いました。U39とあればLoc(ロケーション)を表し、説明が難しいですが、検査としては場所を示すものです。ただ、その中でも検査結果のLoc.の場所でも、必ずしも不良の場所ではないという事を書類とまた別の検査で総合的に判断しないといけない点がかかなり難しいです。

回路テスターと呼ばれる器具で導通があるかどうかを検査するものです。主にヒューズに使われるもので、それ以外の用途で使用された場面は今のところ見たことはありません。また、外観検査といって顕微鏡を使用して異物や破損、はんだ付けの状況を見るのですが、ピンの一つ一つを顕微鏡で確認したりするのですが、はんだの基本的な知識としては多すぎても少なすぎてもいけませんが、製品の使用上、はんだをホームベースの形にして、意図的に少なくすることで部品が片方に立つのを防ぐという効果もあります。

どうしても、部品をおいた時にはんだ量が多い方に部品が引っ張られるという性質を持つ為、その微細な量を見ていかないといけないこと。また、真上から見たものと横から見たものでピンの見え方が変わります。サイズは髪の毛よりちょっと大きいものから様々ですが、顕微鏡を使用しても、確認がかかなりしづらい事です。また、クライアントへの報告のため、修理前と修理後のもので現物の写真を取って行くのも大変で、手ブレ機能がないので、セルフタイマーや肘や腕を固定したり、照明を調節したりと色々な事を習得しなければならないのです。

基盤があり、その部品数と細かさから、図面を開いたりするのですが、セキュリティの関係上ファイルサーバが別れていたり階層がかかなり深かったりするため、フォルダパスを明記しないと追っていけない深さになります。また、業界としての独特の専門用語があり、言い方は違うけれど言っている事が同じと、聞き分け等で何を言っているか察知しないといけない為、神経がすり減りました。

国際規格と製品の本来の規格と社内の規格と前提として暗記ではなく理解した上で考慮すべき点がかかなり多く、厳しすぎれば過剰品質となり、また、ゆるければ不良品を大量に生産、社外へ不良を流す為、簡単に言えば複数の基準を総合的に見て落とし所を探らないしその製品のベストな値というか生産・不良を見つけて改善を行うという事が業務となります。国際標準規格だけでも、正確には覚えていませんが700ページ暗いだったと記憶しています。

その中でも、主要な部分にチェックを入れて見やすくしましたが、項目によっては数十ページ以上あり写真はありますが、現物は実際にどうなの？というのと、技術的な資料な為、インターネットや尋ねたりして、ひたすら用語を確認しながら読み進めていかなければならず、1ページ読むのに30分以上かかる箇所もあつたりとかなりの苦勞を伴いました。また、不良をさほど見ないうちに、作業に入った為、技術書との照らし合わせを行う間もなく日々の作業に追われる様になりました。

部品の起き方を特定する方法もあり、1ピンと呼ばれる本来置くべき初めての場所に基盤に白い点が売ってあつたり、チップによってロゴの位置や点によってどこが始まりか、また何ピンあつてどこまで続くか、という業界用語で起き方が違うものをキョクセイソウイというそうです。ボイドとははんだ内部に気泡ができてしまいはんだ結合強度の低下となるなど、用語の理解と会話についていのにかなりしんどかったです。その都度聞いたりはしていましたが。

また、不良内容を記載する時に溶断(過電流によって線が切れる事)、断線(根本的に元が切れていたりする事)その確認はX線で確認するのですが、あくまではっきりと写っていたりいなかったりと不良の画像を見ないと判別が困難なものでした。全てが全てわかりやすいものではないで

す。溶断の場合は切れた端々が丸くなる為、比較的わかりやすかったです。ただ、断線と思われる場合でも、上部と横からカイロテスターを使用して導通計測を行った所、導通があったりなかったりと、総合的な判断を求められる様な場面もあり難しい業務だと感じました。

検査項目の見方でショートすると抵抗値が低いという値がでる等、部品の特徴と検査機で何が行われているかわからないと判断のつかないものがあります。また、検査機にも当然精度があり、その検査機によって精度もまちまちという事でした。

不思議に思った事

#### 1. 残業について

通しで何か業を行える訳でもないのにしきりに残業をする様に源川さん、北原さん福田さんに言われた事

残業についての考え方も話したのに、話題として連日、他の人に対して生活残業等、悪口を言っていたが、その内容に対して二転三転し考え方が違う事をコロコロと言い始めた事。直接院と呼ばれる現場作業員と間接員と呼ばれる事務員で間接員と呼ばれる事務員は現場の改善を行ったりする関係上いくらでも残業ができるといい、QCは残業がつきものと言われた。なんで連日話がコロコロ変わるのか不思議に思っていました。

2. 小黑がアポ無しで急に来て、雇用契約書の書類を持ってきて、記載内容に間違いがあったのもう一度書き直して下さい。と言われました。その時に話した内容が、昔ながらの残業で連帯感を高める社風という事、残業に関してはシビアに考えて必要以上に残業しないと伝えてそれを実行している事。とりあえず状況がわからないから動かないでほしいと伝えました。

この時伝えた内容でプロスタッフの営業が勝手に動いて、現場に伝えている事が後々合点がいききました。なぜ毎日の話題で残業の考え方や、私も残業嫌いな方などの話をしていたのか私が、現場の状況で営業にうっかり伝えたのが失敗だったと気づきました。

部長を初め周りからも冷たい視線等、「俺たちは仕事があるから残ってるだけだ」と言わんばかりの印象だったと今思えばそうだと思いました。

心理学的に嫌悪感を抱いている相手に対して笑顔を作るという行為には苦痛を伴います。そんな中周りの笑顔は奇妙なものに思えました。

暗黙知、ないし紳士協定という形で言わなくてもまだ様子見だよねと私の中で勝手に思っていたのですが、動くな、だけれども状況を伝えるという意味では言うべきではなかったと失敗しました。勝手に動いて状況を悪化させて働きづらくなるなあと思いました。動くなと言っても動かし、正直、状況もわからないのに軽率な行動を取る営業かあとハズレをひいたなあと思いました。業務の進捗が早いのが気がかりでした。この時、小黑との会話では2ヶ月ほどという認識みたいでした。

会話を重ね、業務をこなすうちにUMCHとプロスタッフ両方で話を初め2ヶ月で聞いていたのに教育期間の大幅な差異が出始めました、2週間たった頃から、来週から後ろから見ているけれど一人でやってもらうからと言われました。何か何もわからないまま初めの3日間は勉強という形で専門用語をやったりしたけれど、日々業務をこなすには周辺知識が明らかに足りない事がわかりました。そんな中で教育期間短縮で放り投げられたら溜まったもんじゃないなと内心思っていました。



事。労働条件等違うという私の言葉に対して、確認をする事なく、「知らない」で、済ませて継続できるか出来ないかの判断を迫ってきた事。

- ・業務の確認をしないし、やらないで事実に基づいて確認を取らず行動を起こしたこと